（平成 29 年 6 月試験研究業務月報）
タスクチーム活動テーマ名：『京 夏ずきん』の早期出荷を実現する

情　報

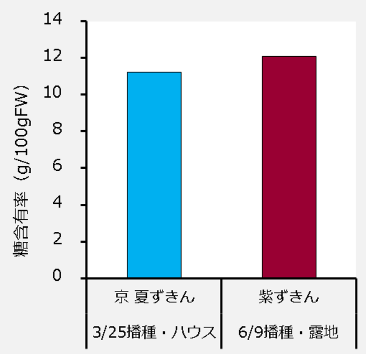
早期収穫できた『京 夏ずきん』の食味検討会を開催

夏期のエダマメは産地間競争が激化しています。農林センターでは、『京 夏ずきん』が 6 月下旬から収穫できる作型を確立し、ゆでたエダマメの糖含有率が、秋に出荷される『紫ずきん』とほぼ同等というデータを得ました。

この度、エダマメの振興や販売に関わる関係機関による食味検討会を行ったところ、参加者全員が、6 月に市販されている他県産エダマメよりも莢が大きく、甘味やうまみがあり、とても美味しいとの評価でした。

現在、南丹地域以北の各地域において、収穫期に生産者を含めた食味検討会を行うなど、タスクチーム活動*による実証を行っており、今後、より美味しい『京 夏ずきん』エダマメをより多く生産するため、産地育成を推進していきます。

＊タスクチーム活動：研究機関と普及組織が一体となり、研究成果を現地で速やかに定着させる活動



食味の検討を行う関係機関の担当者（左）

昨年度の糖分析結果（右上）
収穫したエダマメの着莢状況（右下）

農林センター